

京都大学大学院文学研究科
2024年度

博士後期課程編入 学生募集要項

【注意】

出願期限と論文及び論文要旨の提出期限が異なりますのでご注意ください。

2023年度末に本研究科修士課程を修了見込の者の出願は受け付けません。(該当する者は「編入学」ではなく、別途案内する「進学」の手続きを申請すること [手続きは所属専修及び文学研究科教務掛より案内されます。])

2023年9月

京都大学大学院文学研究科

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
電話 (075) 753-2710
<https://www.bun.kyoto-u.ac.jp>

京都大学大学院文学研究科アドミッション・ポリシー

文学研究科博士後期課程

京都大学文学研究科博士後期課程においては、人間の諸活動の原理的な解明とその諸活動が有する価値を問い直すことを通じて、行動科学を含む広義の人文学に関わる高度な学術を築き上げることを根幹の教育理念とする。この理念に基づき、①基盤的・専門的な専門知識、②新たな知を創造する卓越した能力を有し、③高い倫理性と強い責任感、④研究成果を世界に発信し国際的連携のもとで研究を推進する能力、をそれぞれ有する研究者および高度な専門業務に従事する能力を有した人材を育成することを教育目標とする。

この教育目標を達成するために、本研究科博士後期課程は、自らが専門的研究の一翼を担おうという使命感を持ち、人文学のそれぞれの分野で卓越した知を創出することのできる学生を求める。

この教育目標にそって、編入学試験においては、以下の点を評価する。

1. 志望分野に関する深い専門的知識を有しているとともに、人文学の研究を通じて学術の高度化に寄与する能力をもっている。
2. 志望分野において、先駆的な研究課題を自ら設定することができ、原典や一次資料の精緻な分析に基づいて、課題を解決する能力をもっている。

入学後には、これらの知識や能力を基礎としつつ、指導教員による博士論文執筆を軸とした計画的な研究指導を受け、それを通して、専門家としての強い責任感と高い倫理性をもって、高度なオリジナリティを有する研究を進め、国際的に活躍していく能力を身につけることが期待されている。

編入学試験においては、そうした入学後の研究を実り多いものとすることができる程度に、上記の二項目の知識や能力が具わっているかを判定する。具体的には、それぞれの専門分野に応じて指定される専門科目および関係外国語を中心とした筆記試験と、提出論文を中心とした口頭試問を総合的に評価して判定を行う（本募集要項を参照）。

1. 募集専攻（専修）

| 専攻 | 専修 | | | |
|-------|---------|------------------|------------------|----------------|
| 文献文化学 | 国語学国文学 | 中国語学中国文学 | 中国哲学史 | インド古典学 |
| | 仏教学 | 西洋古典学 | スラブ語学 スラブ文学 | ドイツ語学 ドイツ文学 |
| | 英語学英米文学 | フランス語学 フランス文学 | イタリア語学 イタリア文学 | |
| 思想文化学 | 哲学 | 西洋哲学史 | 日本哲学史 | 倫理学 |
| | 宗教学 | キリスト教学 | 美学美術史学 | |
| 歴史文化学 | 日本史学 | 東洋史学 | 西南アジア史学 | 西洋史学 |
| | 考古学 | | | |
| 行動文化学 | 心理学 | 言語学 | 社会学 | 地理学 |
| 現代文化学 | 科学哲学科学史 | メディア文化学 | 現代史学 | 文化越境 |

2. 募集人員

若干名（「編入学生」と本研究科修士課程からの「進学者」を合わせて55名です。）

3. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者、あるいは2024年3月31日までに該当する見込の者

- (1) 修士の学位又は修士（専門職）若しくは法務博士（専門職）の学位を有する者
- (2) 外国において、本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程を修了した者（注①）
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程を修了した者（注①）
- (4) 我が国において、外国の大学の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が指定するものの当該課程（本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程に限る。）を修了した者（注①）
- (5) 国際連合大学（国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条項第2項の規定によるものをいう。次号において同じ。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者であって、本研究科において修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者（注②）
- (7) 文部科学大臣が指定した者（平成元年文部省告示第118号）（注②）
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、第1号に掲げる者と同等以上の学力があ

ると認めた者で24歳に達したもの(注②)

(注) 出願に際して教員とのコンタクトは不要です。

- ① 外国の大学の修士課程を修了した者及び修了見込みの者、又は外国において修士の学位を取得した者及び取得見込みの者は、学歴の事前確認をしますので、京都大学アドミッション支援室(AAO)を通じて照会してください。同時に入学願書に必要事項を記入したもののコピーと、修了(見込)証明書(英文も可)または修了証書(原本に限る)を2023年11月13日(月)までに教務掛へ提出(郵送の場合は必着)してください。資格確認をしないで出願した場合には願書を受理しません。ただし、京都大学に研究生として在学中の者は除きます。

京都大学アドミッション支援室(AAO)

(<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/students1/ku-aa0.html>)

【AAO申請(申請書)入力についての注意点】

- ・「推薦状」と「日本語能力試験等の補足資料」の提出は不要です。
 - ・「Statement of Purpose」は、所定の様式をダウンロードした後、白紙のまま(何も入力せず)、添付してください。
- ② (6),(7)及び(8)により出願する者は、出願に先立ち資格審査を行いますので、2023年11月13日(月)までに教務掛に照会してください。資格審査を受けないで出願した場合には願書を受理しません。

4. 出願書類等

出願書類の書式は全て本研究科のWEBサイト

(https://www.bun.kyoto-u.ac.jp/admission/graduate_index/)より入手できます。

WEBサイトよりダウンロードし、各自で印刷した用紙(A4サイズ)を出願書類として使用してください。

| | |
|--------------------------------|---|
| (1)入学願書 | 所定用紙(入学願書は両面印刷)に志望専攻・志望専修・希望の研究題目等必要事項を明記してください。 |
| (2)受験票・写真票 | 所定用紙に必要事項を記入し、上半身脱帽正面向きで出願前3か月以内に撮影した修正・加工していない写真(縦4cm×横3cm)を各々貼付してください。 |
| (3)出身大学院成績証明書(1通) | 本学大学院文学研究科修了者は提出不要 |
| (4)出身大学院修了証明書 又は修了見込証明書(1通) | 本学大学院文学研究科修了者は提出不要 |
| (5)入学検定料 | 30,000円 下記により入学検定料を納入後、「入学検定料収納証明書貼付台紙」(所定用紙)に「京都大学EX決済サービス」サイトから収納証明書を印刷して所定の位置に貼付のうえ提出してください。 |

※現在、京都大学大学院修士課程(文学研究科以外)もしくは独立研究科に所属して

| | |
|--|---|
| <p>いる方は、11月9日(木)までに申し出てください。</p> | <p>【納付期間】 2023年12月5日(火)～12月18日(月) (期間外取扱不可)</p> <p>「京都大学EX決済サービス」サイト (https://www3.univ-jp.com/kyoto-u/let/) にアクセスし、所定の手続きにより納入してください。 支払い方法について不明な点があれば、以下に問い合わせください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「京都大学EX決済サービス」ヘルプデスク TEL 03-5952-2117 受付時間 10:00～18:00 問い合わせ受付期間: 2023年12月5日(火)～12月18日(月)</p> </div> <p>※手数料(650円)は出願者負担となります。 ※必ず「納入者名」が出願者本人の氏名であることを確認のうえ納入願います。 (出願者以外の名義で納入された場合は、願書を受理できない可能性があります。)</p> <p>【注意事項】 平成23年3月に発生した東日本大震災、平成28年4月に発生した熊本地震、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震及び令和2年7月豪雨による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災した者で、罹災証明書等を得ることができる場合は、入学検定料を免除することがあります。免除を希望する者は、11月13日(月)までに、文学研究科教務掛へ連絡してください。 なお、日本政府(文部科学省)国費外国人留学生は検定料の納付は不要ですが、その旨を証明する所属大学発行の証明書を提出してください。 また、入学検定料を振り込んだが出願しなかった場合、誤って二重に振り込んだ等の場合には、必ず文学研究科教務掛に速やかに連絡し、返還請求の手続きを行ってください。 その際、「入学検定料収納証明書」が返還手続に必要ですので、紛失しないよう注意してください。 ただし、願書受領後は、いかなる理由があっても入学検定料は返還しません。</p> |
| <p>(6) 受験票送付用封筒</p> | <p>長形3号封筒(120mm×235mm)に住所・氏名・郵便番号を明記し、354円切手(速達扱)を貼付してください。</p> |
| <p>(7) あて名票 【入学手続書類送付用】</p> | <p>所定用紙に必要事項を記入して提出してください。 (2024年2月中旬～下旬に受け取る住所を記載してください。) 合格者には入学手続書類も同封します。</p> |
| <p>(8) 住民票 (外国人留学生のみ)</p> | <p>外国人留学生は、市・区・町・村長の発行する住民票を提出してください。(または、在留カードの両面をコピーしたもの) 海外在住者は、パスポートのコピーを提出してください。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>(9)論文及び論文要旨 (それぞれ同じものを 2部)</p> <p>※提出する論文、論文要旨は コピーしたものでも差し支 えありません。</p> <p>※論文と論文要旨について は、各1部ずつを封筒に入 れ、封筒には必要事項を記 入した所定用紙を貼付して ください。</p> | <p>1. 出身大学大学院研究科修士論文、又はそれに相当するものを 提出してください。修士論文が志望する専修と関連がないと きは、志望する専修に関連がある論文を作成し提出してくだ さい。</p> <p>(ア)中国語学中国文学、インド古典学、スラブ語学スラブ文学、 ドイツ語学ドイツ文学、英語学英米文学、フランス語学フラ ンス文学、イタリア語学イタリア文学の専修志望者について は、提出論文が日本語、英語または志望専修で主として取り 扱う言語(※)の場合、それと同内容の論文を別言語で併せ て提出する必要はありません。 ※不明な点があれば、文学研究科教務掛(075-753-2710)に 問い合わせてください。</p> <p>(イ)哲学、西洋哲学史、日本哲学史、西洋史学、心理学、言語学、 社会学、地理学、科学哲学科学史、メディア文化学、文化越 境の専修志望者については、提出論文が日本語または英語の 場合、それと同内容の論文を別言語で併せて提出する必要は ありません。提出論文がそれ以外の言語の場合、それと同内 容の論文を日本語または英語で併せて提出してください。</p> <p>(ウ)上記以外の専修志望者については、提出論文が外国文の場合、 それと同内容の日本語の論文を併せて提出してください。</p> <p>2. 論文要旨は、日本語4,000字程度で作成し、論文とは別綴じ としてください。外国人留学生で、日本語での作成が困難な 場合は、出願前に教務掛に照会してください。ただし、英語 学英米文学専修志望者の論文が日本語の場合は、その要旨は 英語で書いてください(様式随意)。</p> |
| <p>(10)研究計画書</p> | <p>思想文化学、行動文化学、現代文化学の専攻志望者については、 大学院で取り組みたい研究についての研究計画書(日本語の場合 2000字以内、英語の場合1000語以内)も併せて提出してくださ い。</p> |

5. 出願手続

4. 出願書類等のうち、(9)論文及び論文要旨のみ、受付期間・提出方法が異なります。

| | |
|---|---|
| <p>(1) 願書等受付期間・提出方法 ※4. 出願書類等のうち、(1)から(8)(10)</p> | <p>2023年12月12日(火)から12月18日(月) 午後4時まで(必着)</p> <p>ただし、入学検定料の納付が完了していない等の不備がある場合は、願書は受理しません。 また、期間後に到着したものは受理しないのでゆとりを持って郵送してください。 出願は郵送(書留郵便)に限ります。 なお、封筒の表に「<u>大学院博士後期課程願書在中</u>」のラベル(所定用紙)を貼り、必ず「書留郵便」としてください。</p> |
| <p>(2) 論文及び論文要旨受付期間・提出方法 ※4. 出願書類等のうち、(9)</p> | <p>2024年1月4日(木)・1月5日(金) 午後4時まで(必着)</p> <p>提出は、郵送(書留郵便)もしくは文学研究科の窓口を持参とします。郵送の場合は封筒の表に「<u>大学院博士後期課程論文在中</u>」のラベル(所定用紙)を貼り、必ず「書留郵便」としてください。 期日までに論文及び論文要旨を提出しなかった場合は、第一次試験・第二次試験とも受験できません。</p> |
| <p>(3) 送付先</p> | <p>〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科教務掛</p> |
| <p>(4) 受験票等の送付</p> | <p>受験票および受験上の注意事項の送付については、2024年1月19日(金)頃を予定しています。1月26日(金)を過ぎても通知がない場合には文学研究科教務掛(075-753-2710)に問い合わせてください。</p> |

6. 選抜試験実施方法

選抜試験は以下の内容の第一次試験と第二次試験によって実施します。

| | |
|--------------|---|
| <p>第一次試験</p> | <p>専修に関する専門科目及び関係外国語を中心として筆記試験を行います。</p> |
| <p>第二次試験</p> | <p>提出論文を中心として口頭試問を行います。また、専攻によっては筆記試験を併せて行うことがあります。</p> |

(注)

- ① 第二次試験は第一次試験合格者のみに実施します。
- ② 第二次試験での「筆記試験」実施の有無については、第一次試験合格者発表の際に掲示し、併せて本研究科のWEBサイトに発表します。

7. 選抜試験日程・合格者発表（試験場 京都大学大学院文学研究科）

| | |
|----------------------|--|
| (1) 第一次試験 | 2024年2月5日（月）午前9時～ |
| (2) 合格者発表 （第一次試験） | 2024年2月6日（火）午後5時頃 文学研究科西側掲示場に発表します。併せて本研究科のWEBサイトに受験番号で発表します。 なお、電話、メール等による問い合わせには一切応じません。 |
| (3) 第二次試験 | 口頭試問 2024年2月8日（木）午後1時～ ※筆記試験 2024年2月8日（木）午前10時～ |
| (4) 合格者発表 （最終合格者） | 2024年2月9日（金）正午頃 文学研究科西側掲示場に発表します。併せて本研究科のWEBサイトに受験番号で発表します。 なお、電話、メール等による問い合わせには一切応じません。 |

8. 入学料及び授業料

入学料 282,000 円
授業料 半期分 267,900 円（年額 535,800 円）

- (注) ①入学料及び授業料は予定額ですので、改定されることがあります。
入学時及び在学中に改定された場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。
- ②入学料及び授業料の免除・徴収猶予については、合格者発表後に送付する入学手続きに関する書類で通知します。

9. その他の注意事項

- (1) 願書受理後は、いかなる理由があっても入学検定料は返還しません。また、出願のため提出した論文等は返却しません。
- (2) 願書提出上の注意
 - ・ 願書は本人が楷書で鮮明に記入してください。
 - ・ 出願書類の受理後は、出願事項の変更を認めません。
本研究科では、障害等があつて受験に配慮を必要とする入学志願者からの相談を受け付けます。受験上、配慮が必要な場合は協議をします。原則として2023年11月13日（月）までに、文学研究科教務掛に申し出てください。
- (3) 受験に関する注意
 - ・ 筆記試験において使用を許可するものは、黒鉛筆・シャープペンシル・鉛筆削り・消しゴム・時計（計時機能のみ）に限ります。
 - ・ 試験室への入室は、係員の指示に従うとともに、必ず受験票を係員に呈示してください。

(4) 個人情報の保護について

「京都大学における個人情報の保護に関する規程」の定めるところに従い、出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、入学試験に関する手続き以外の目的には使用しません。

(5) その他

- 2024年4月1日以降において、他の大学・大学院等に在籍する者は入学を許可しません。また、企業、公社・団体、官公庁、研究機関等に在職する者は、学業に支障がないよう配慮することについての当該所属長からの承諾書を入学手続き時に提出してください。なお、自ら事業を営む者及び職を持っているが企業等には在職していない者は、学業に専念することについての誓約書を入学手続き時に提出してください。
- 入学手続きは、2024年3月初旬の予定です。
- 過去に実施された試験問題は、文学研究科教務掛窓口で閲覧できます。（身分証明書等を持参してください。）詳しくは本研究科のWEBサイトを参照してください。著作権法との関係で、閲覧は窓口のみとなっております。受験希望者本人だけでなく、代理の方でも閲覧できます。
- 教務掛窓口業務時間については、本研究科のWEBサイトを参照してください。